健康ワンポイントアドバイス

お子さんの発達 あせらずゆっくりと

保健センターでは、お子さんの健やかな成長発達のために乳幼児健診を実施しています。保護者から多く聞かれる気になることについて、対応を紹介します。

言葉がゆっくりかな…様子を見ていていい？

言葉の発達にとって大事なことは、子どもの中に「伝えたい気持ち」が芽生え「聞いてもらった」と喜びを経験することです。子どもの話したい気持ちを大切に、目と目を合わせて聴くことは、子どもの話にしっかり応えることになります。日常の中で「うれしいね」「きれいだね」など、ちょっとした声掛けや、親子のスキンシップ、手遊び、絵本の読み聞かせなど、情緒的なコミュニケーションを大事にしましょう。

動き回る、どう言えば伝わるのかな？

２歳前後になると自分でやりたいことが増えてきます。次々と遊びを変えたり「見て見て」「これなあに？」と話しかけたりするころです。そんな時、親は「そうなんだね」と気持ちを受け止め、見守りましょう。

大好きな親が認めてくれることは、子どもの安心につながります。しかし危険な行動をしたり、周囲に迷惑を掛けたりした時は、叱ることが必要な場面もあります。そんな時は親が子どもと目の高さを合わせ、いけないということを短く伝えましょう。

子育てを頑張っているあなたへ

子育てをする中で、親子の間に愛と信頼感を育むためには、スキンシップ・笑顔・言葉掛けの三つの触れ合いが重要です。この触れ合いの機会は、子どもの発達や親子の絆も深めます。そして大切なことは、叱るよりも褒めることを多くすることです。発達が気になる、育児が大変と感じたら、一人で抱え込まず飯岡保健センター(☎57-3113)に相談してください。

【健康管理課保健師】